

## 5 . 整備効果事例

施策の方向性：地域の自立支援と四県連携の強化

施策：四国四県の連携を強化し、四国の自立支援に資する四国8の字ネットワークの戦略的整備及び利用促進

事業名：四国8の字ネットワーク（主要都市間を連絡する規格の高い道路）

四国横断自動車道 高知東部自動車道（高知県） 阿南安芸自動車道（徳島県、高知県）  
一般国道 56号中村宿毛道路（高知県）

四国四県を結ぶ広域ネットワークはもとより、本州四国連絡橋と相まって本州との結びつきを深め、物流基盤の強化、観光アクセス・医療アクセスの向上をはじめとした地域間連携・交流促進の基幹となる道路として期待。

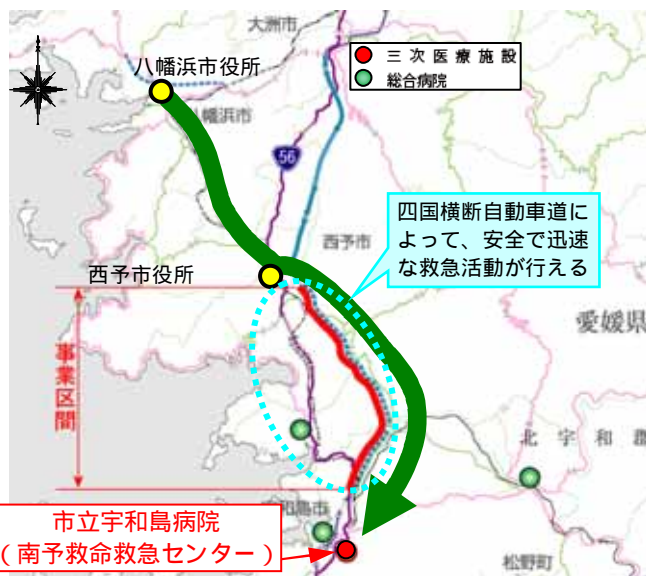
近い将来に発生が予測される「東南海・南海地震」や常襲する台風や豪雨などによる災害時の代替道路となる「いのちを支える道」として期待。



図 - 12 県都から県境都市への所要時間の比較



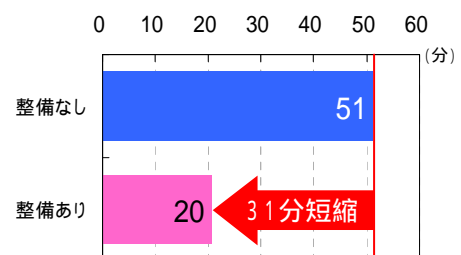
図 - 13 南海地震発生時の津波による現道の冠水予想区間



### 西予市消防本部の声

- ・H20年実績で搬送1,631件のうち、約20%が市立宇和島病院への搬送
- ・国道56号等現状では、夕方などに宇和町内、吉田町内が渋滞、横断道ができると時間短縮になる。
- ・高速道路は救急車内での処置が容易であり、開通すると宇和島への搬送時間も短縮でき、横断道の効果はある。

### [西予市役所～宇和島病院]の所要時間



整備なし：H17(2005)道路交通センサス混雑時速度より算出  
整備あり：H42(2030)将来交通量推計結果の速度より算出

図 - 14 医療施設へのアクセス性向上

LED バレイ構想の実現のためにも四国 8 の字ネットワークの推進は不可欠

LEDバレイ構想 ~21世紀の光源LED産業の集積をめざして~



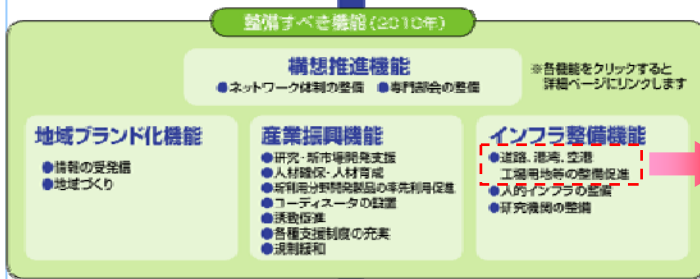
徳島県は世界一の LED 生産地域

徳島県は、高輝度 LED の世界シェアにおいて約 30%を生産するなど、世界一の LED 生産地域となっている。

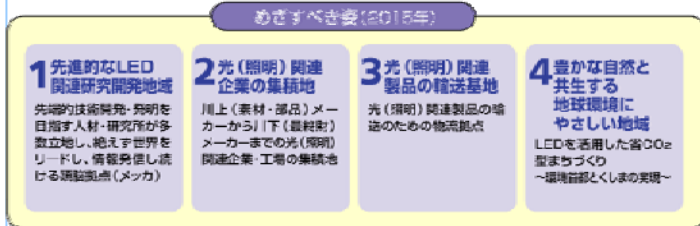
徳島県では、世界有数の LED メーカーが立地する優位性を活かし、光関連産業の集積を図ることを目的とした「LED バレイ構想」を平成 17 年 12 月に策定し、地域が一体となって構想の実現に取り組んでいる。

LED バレイ構想では、整備すべき機能としてインフラ整備機能が挙げられており、その整備内容として、“高規格幹線道路や地域高規格道路の早期建設促進を図る”と唱われている。

基本目標「21世紀の光源であるLEDを利用する光(照明)産業の集積」



消費地、空港、港湾、教育、研究機関及び企業間とのアクセス時間を短縮するため、**高規格幹線道路や地域高規格道路の早期建設促進**を図る



LED バレイ構想の実現のためにも当該区間は不可欠

図-15 LED バレイ構想体系図 (出典: LED バレイ徳島 HP)

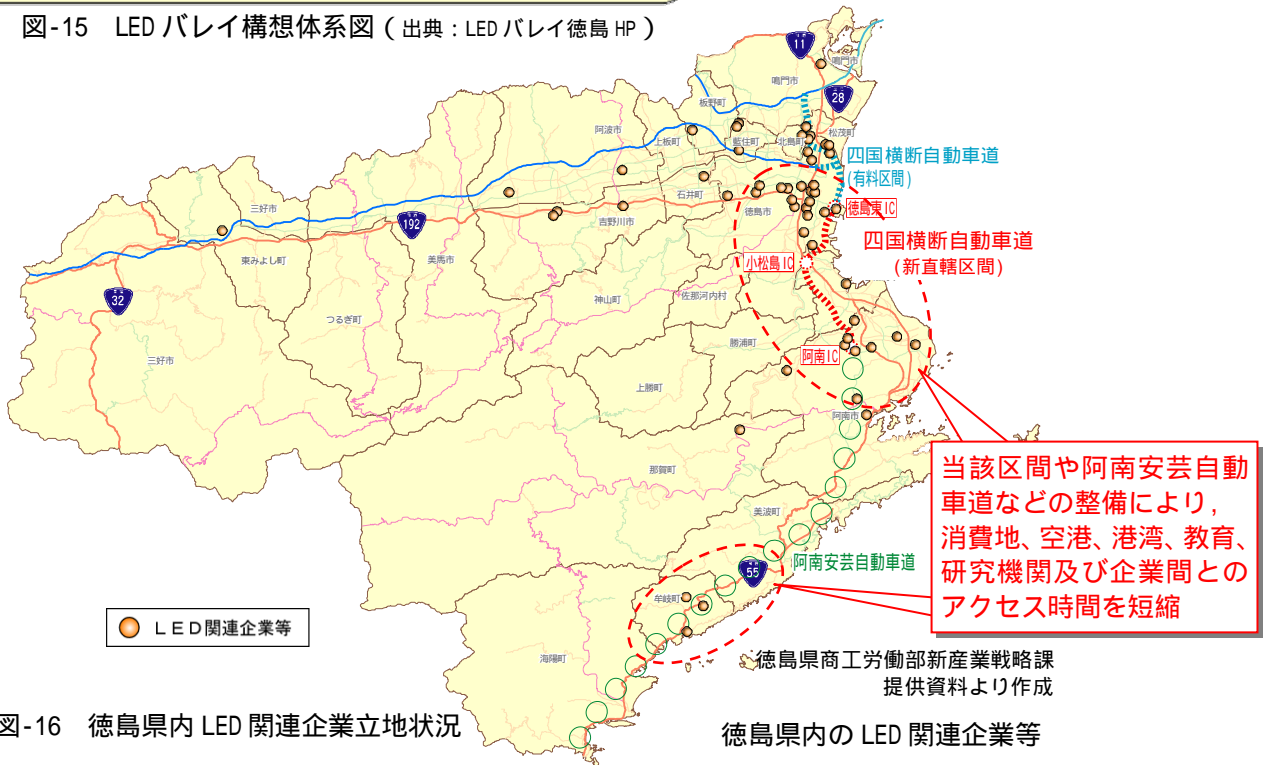


図-16 徳島県内 LED 関連企業立地状況

## 命の道を支える四国 8 の字ネットワーク ～医療圏域の拡大～

高知東部地域（南国市、香南市、香美市及び安芸市）から高知医療センターへの搬送件数は年間約 1,400 件あり、また、救急患者の管外への搬送率は安芸市を除き 50%以上と高い管外搬送率を有しており、増加傾向である。

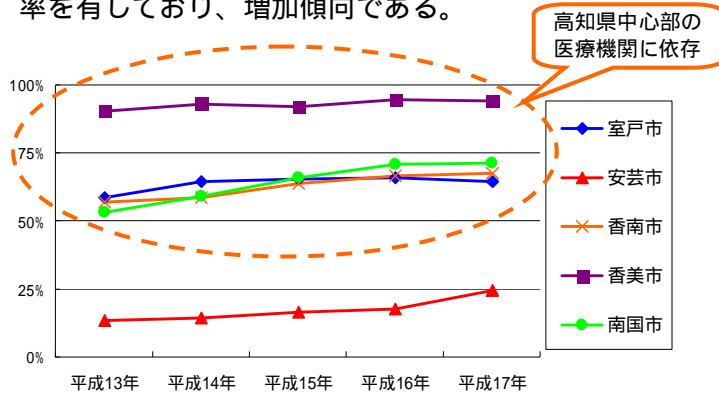


図 - 17 高知県東部地域の高い救急管外搬送率

消防署	医療センターへの搬送件数
南国市消防署	638
香美市消防署	177
香南市消防署	298
安芸市消防署	156
中芸広域連合消防署	55
室戸市消防署	63
合計	1,387

出典) 高知医療センター提供資料(H20年度)

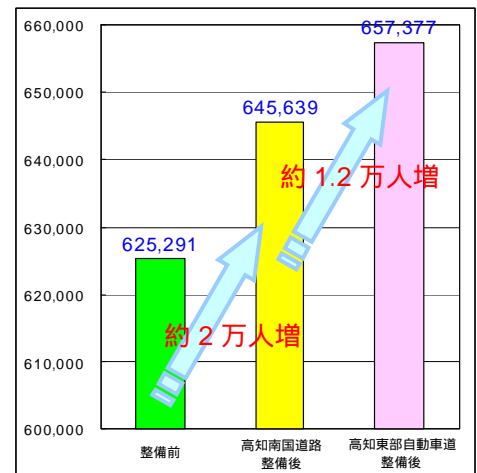
図 - 18 高知東部地域から高知医療センターへの管外搬送件数

高知南国道路の整備により、第三次医療施設へのアクセスが向上し、60分カバー圏域人口が約 2 万人増加することが予想される。また、高知東部自動車道全線の整備により、さらに約 1.2 万人のカバー人口の増加が予想される。



注) 市町村役場から医療施設までの時間によりエリアを設定。  
注) 現道の所要時間は平成 19 年プローブデータと H17 センサスに基づき算定。

図 - 19 第三次医療 60 分カバー圏域の推移



注) 第三次医療施設とは  
重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤な救急患者を 24 時間体制で受け入れる体制と高度な診療機能を有する医療機関をいう

図-20 カバー人口の増加

## 命の道を支える四国 8 の字ネットワーク ～防災機能の強化～

国道 55 号は、高知県東部地域と県中心部を結ぶ唯一の第 1 次緊急輸送路であるが、集中豪雨による冠水等で交通が遮断されるなど、安全面で課題を抱えている。信頼性の高い高知東部自動車道の整備によりリダンダンシーが確保される。

### 地域の声

- ・高知県東部の場合は幹線が 1 本しかない状態で、台風時には通行規制を余儀なくされる。災害に強い改良を進めていくことが地域貢献につながる。(マスコミ関係者)
- ・台風、地震、雨などの場合、道路が 1 本しかないのは困る。特に東部については 55 号以外に道が無い。(高知商工会議所)
- ・南海地震に備えて、道路の安全対策を早く確実に行ってほしい(南国青年会議所)
- ・南海地震をはじめとする各種災害へ対応できる道路整備は優先度が高い(嶺北広域行政事務組合)
- ・地震時の避難経路等、防災面に配慮した道づくりも必要(学識経験者)

施策：生活幹線道路ネットワークの形成

事業名：主要地方道神山鮎喰線・養瀬工区（徳島県）

- ◇当該区間は、交通量が多くバス路線であるにもかかわらず、幅員狭小、線形粗悪であり常に車両が停滞する等の交通の隘路。
- ◇バイパスの整備により、交通隘路の解消を図るとともに、通行時間短縮による利便性の向上や通行の安全性を確保。
- ◇都市部へのアクセスを向上させることにより地域の経済・産業振興に大きく寄与。

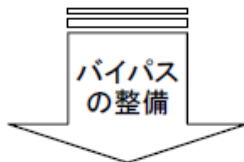


写真 - 5 交通隘路の状況



計画平面図

図 - 21 主要地方道神山鮎喰線・養瀬工区

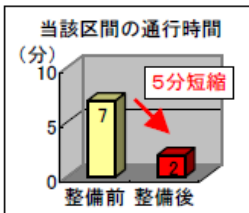


整備後イメージ

救急搬送時間の短縮

～名西消防組合神山鮎喰消防署の声～

- 救急の搬送は、主に神山鮎喰線を使用しており、バイパスの早期完成を待っている。
- バイパスの完成により搬送時間が短縮されるので、効果は非常に大きい。



整備前：H21県調査旅行速度より算出（大型バスとの対向で20分以上要する時もある）  
整備後：設計速度より算出



図 - 22 整備効果（搬送時間の短縮）

地域経済の発展

～神山温泉の声～

- 利用者であるお年寄りや身障者の方々にとって、道路が広くなり、車で走りやすくなるので安全になる。
- 四国八十八箇所めぐりの大型バスが、対向できるようになり、観光客の増加に期待している。

神山温泉



事業名：一般県道岩城弓削線上島架橋・生名橋工区（愛媛県）

H20新たな中期計画「今後の道路行政に対する意見・提案」より(以下、中期計画意見と言う)

生名島から島外への交通手段はフェリーしかなく、移動時間が制限される上に高い移動コスト。また、夜間や悪天候時は完全に孤島化。

生名橋の整備に伴い、生名橋から島外への移動時間が短縮するとともに、天候に左右されない往来が可能。また、救急医療や消防防災の際、円滑な移動が可能となり住民の不安が解消。



地域住民は通勤通学、医療、消防防災、物資の流通等に大きな不安や負担を抱える



天候にも左右されずに移動可能

車両、二輪車での移動可能

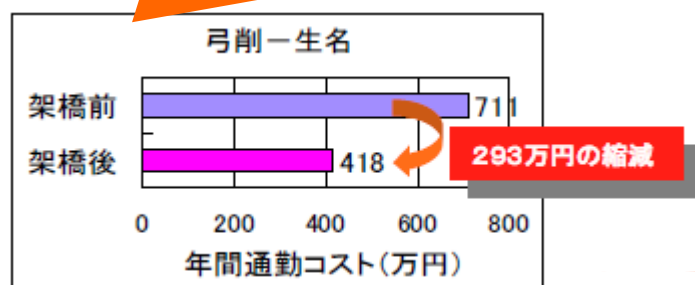


図 - 23 弓削 - 生名間移動時間の比較

図 - 24 弓削 - 生名間年間通勤コスト

弓削 - 生名間を通勤通学する合計 86 人の年間削減額

円滑な移動が可能となり、住民の不安が解消し、移動コストの負担も軽減

事業名：一般県道奈比賀川北線・長山工区（高知県）

本路線は、高知県東部の中核都市・安芸市の中心部と中山間集落を結ぶ幹線道路であり、地場産品の輸送や通勤通学はもとより、消防や防災・救急医療活動にも欠かせない地域の生活道路である。しかしながら、幅員は狭隘で線形も悪く、落石の危険性が高いため、地域住民の安全な通行が確保されておらず、早急な対応が求められている。このため、1.5車線の道路整備や中山間走行支援システムにより早期の事業効果を発現させる。

当該路線の整備により、安全で安心な交通の確保を図ると共に、幹線道路である国道55号、中核都市である安芸市中心部までのアクセスを改善し、住民の生活、地場産品の運搬支援等による産業の活性化に寄与する。



写真 - 6 基幹産業；ユズの生産加工

整備効果

車同士のすれ違い、見通しの改善を図ることで、安芸市中心部・国道55号へのアクセスを大幅に改善すると共に、地域住民の生活道として、安心・安全の通行の確保を図る。

< 整備前 >



< 整備後 >



< 整備後 >

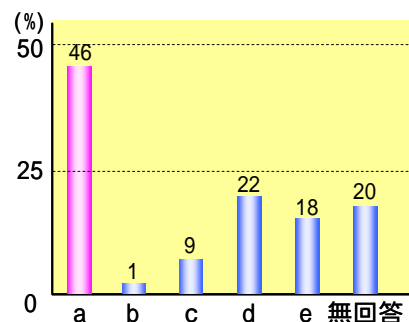


写真 - 7 整備前後の状況

利用者の声；H19 アンケート調査より（中間評価）

地域住民の約半数の方が、地場産品の搬送時間の短縮を実感！

- (a) 地場産品の発送時間が早くなった
- (b) 地場産品を活かした商品開発が増えた
- (c) 地場産品の販売地域が広くなり出荷量が増えた
- (d) 地域産業を活かした交流が増えた
- (e) その他



施策：都市交通の快適性・利便性の向上

事業名：徳島環状道路一般国道192号徳島南環状道路、都市計画道路徳島東環状線、  
主要地方道路徳島環状線（徳島県）

当該区間は、一般国道11号、一般国道55号、一般国道192号のバイパス機能を持つ外環状道路であり、徳島市中心部の交通渋滞解消に中心的な役割を果たす道路。  
市街地を通過する交通や市街地に流入する交通を分散することにより、慢性的な交通渋滞を解消し、交通の円滑化に期待。  
また、良好な都市環境の形成、経済活動の発展に大きく寄与。

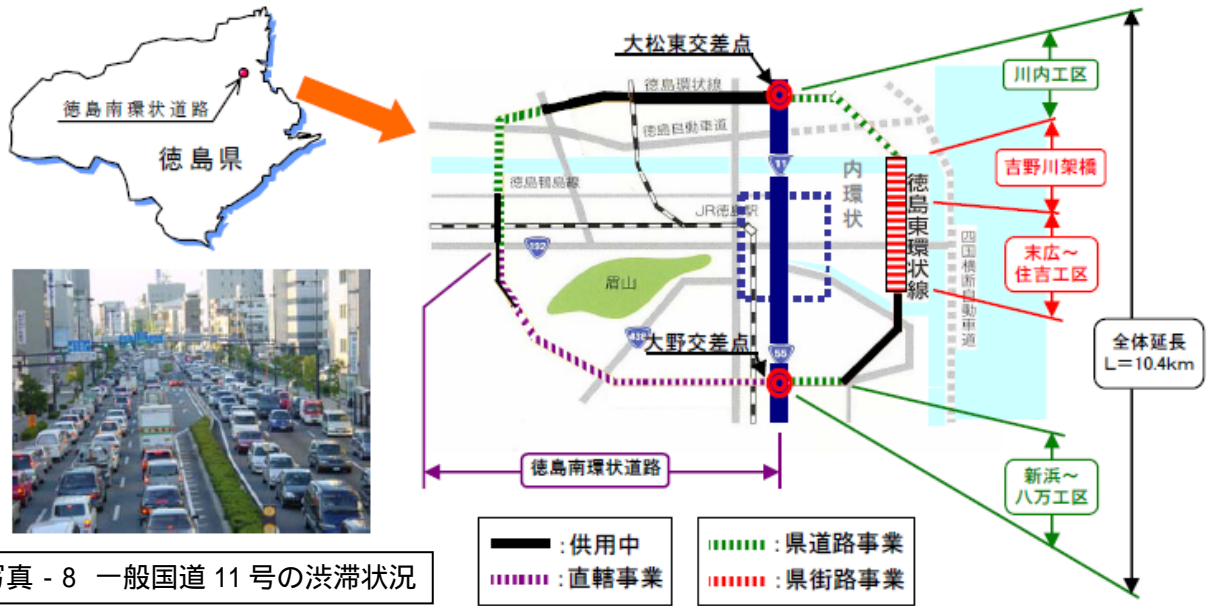


写真 - 8 一般国道11号の渋滞状況

図 - 26 徳島環状道路

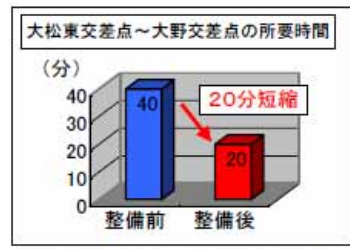


図 - 27 吉野川架橋 東環状大橋(仮称)完成イメージ



図 - 28 末広～住吉工区完成イメージ

- ～整備効果～
- 所要時間の短縮 20分短縮
  - 徳島市中心部の交通渋滞の解消
  - 交通の分散効果による現道の事故率の減少



整備前：H14県調査旅行速度より算出(国道11号)  
整備後：旅行速度を40kmと想定して算出(東環状線)

図 - 29 渋滞解消による時間短縮効果

事業名：松山外環状道路（一般国道33号松山外環状道路インター線、  
一般国道56号松山外環状道路空港線（地域高規格道路））（愛媛県） 中期計画意見より

松山都市圏における通過交通を転換するとともに、交通流を分散することにより、交通混雑の緩和と交通の安全確保を図るための道路。

松山自動車道松山ICと松山空港、松山港とのアクセスを強化するための道路。

中心市街地の通過交通の転換による渋滞損失時間の削減、主要渋滞ポイントの渋滞緩和が期待。

松山市内における円滑な交通と物流、交流の都市軸として、産業振興、災害輸送路に活用。

良好な街づくりのための骨格を形成。



図 - 30 位置図



写真 - 9 国道33号天山交差点付近の渋滞状況

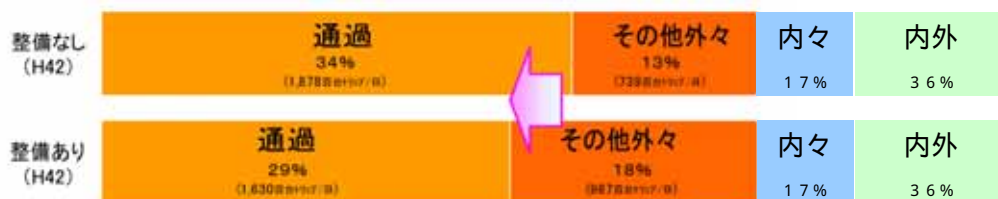


図 - 31 松山外環状道路

愛媛県直轄ワースト1  
国道33号 天山交差点  
843(千人時間/年・km)



図 - 32 渋滞状況（3Dマップ）[平成18年度]



中心部を通過する自動車交通が約248  
百台/日(34%→29%)減少

図 - 33 中心部通過交通の変化





図 - 34 松山外環状道路



図 - 35 松山 IC ~ 松山空港の所要時間変化

香川県西讃地区で唯一コンテナ貨物（製材等）を取り扱う詫間港コンテナターミナルと多度津港、丸亀港、坂出港の各臨海工業団地を最短で結ぶルート。

当該路線の整備により、国際標準コンテナ輸送車の通行が可能となり、物流の効率化に貢献。沿線各市町で積極的に行われている塩田跡地の開発、臨海埋立地等への企業誘致、港湾施設の拡充、中心商店街の活性化及び豊かな観光資源を活かした地域活性化政策を支援する道路として期待。



写真 - 10 国際コンテナ通行支障区間（線形不良）の状況

本路線は重要港湾三島川之江港と松山自動車道三島川之江インターチェンジを結ぶ幹線街路で、沿線には地域の基幹産業である製紙工場が多く立地。

幅員の狭い中心市街地における大型車の通過が交通渋滞や交通事故の大きな要因。

道路整備により交通結節点間のアクセス性の向上、時間短縮、中心市街地への大型車や通過交通の流入防止、安全性の向上に期待。

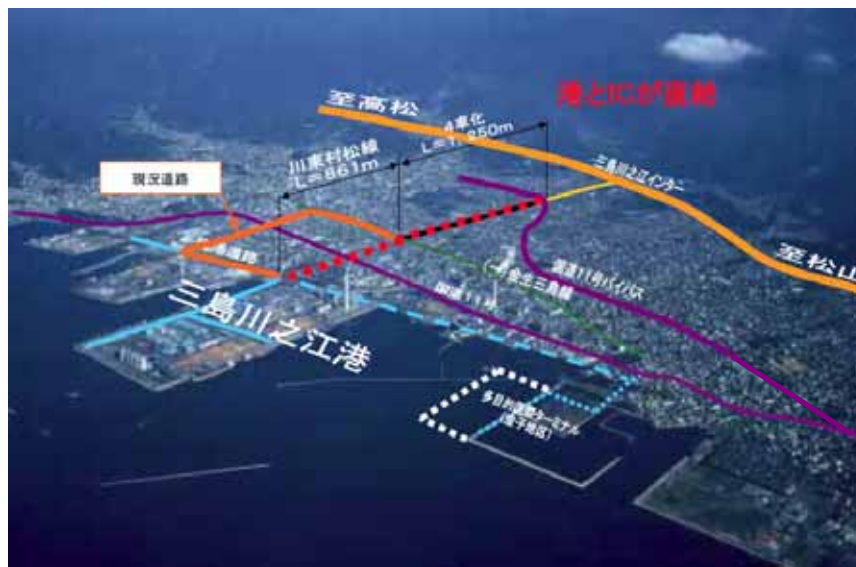


図 - 37 整備状況

重要港湾三島川之江港

近年コンテナ貨物取扱量が急激に伸び、平成 14 年度に「多目的国際ターミナル」の整備に着手しており、四国 8 の字ネットワークの中心点としての地理的優位性を生かした国際競争力の強化や物流機能の向上が期待される

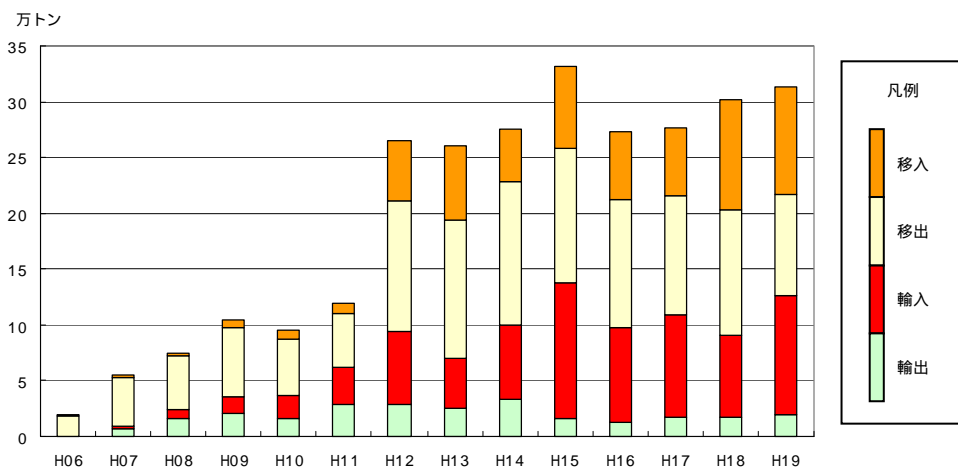


図 - 38 三島川之江港のコンテナ貨物の推移